

社会のハードディスクを変革すること

Jan Øberg

次に述べる事柄について想像して欲しい。

1991年の夏以来、全てのテレビが我々に迷彩服の女性が子どもを含む一般市民を狙撃する、先のユーゴスラヴィアの様子を伝える。多くの男性がレイプされ、何千もの男性が避難民となり、ヨーロッパ周囲のキャンプで彼らの子どもとともに座り込む。少数の勇敢な男性が人道主義的援助プロジェクトに参加し、平和的組織の勇敢な人々と相談し合う。

サラエボの狙撃兵は女性と彼女らの銃によって成り立つ。その銃と同様に大砲の部品、戦車、弾薬は、女性の労働者によって生産され、女性の研究者やエンジニアによって開発されている。当然、武器を売る全ての「死の商人」は女性である。

国際間のパワー・ゲームは女性によって演じられる。NATOの「強い女性たち」が定期的に全地域を爆撃することで、そこを平和にするよりむしろ粉々にすると脅すので、女性の国連大使が安全保障理事会決議を起草するだろう。

時々、女性の大統領である Milosevic 氏、Izetbegovic 氏、Tudjman 氏はジュネーブで会議を開き、女性の調停役である Stoltenberg 氏、Owen 氏と交渉する。女性の事務局長やアドバイザーが連れてこられて、女性の軍事報道官による質問に対する「現実的な」回答を与えるように求められる。

いいえ、あなたにはこんなことを想像するのは難しいだろう！

おわかりのように、信じる人もいるようだが、男性が好戦的で女性が平和的であるということを、証明するのはあまりに単純化しすぎで不合理である。しかしながら、僅かながらの真実をもってはいる。

犯人を指し示すことは、鬱憤をはらし誰かを気分良くさせることでしかない。

「あなたは有罪です！」と言う人は自称裁判官のように名指しで不道德で邪悪であることを責め立てる。通常、次の段階は刑罰を与えることである。打ちのめされ卑下させられた罪のある人々は、悪さを企て仕返しを見つけようとするだろう。このように、両性間の戦いが始まると弱者が強者を弱めることによって、もっと強くなろうと試みるのだ。 き

りがない！

その代わりに、男女間の対立を解決する展望が必要な社会問題として、このことを探ってみよう。

我々の社会をコンピュータと比較して欲しい。そのディスプレイ画面は、一連のファイルシステムからなるハードディスクや、ソフトウェア（アプリケーションまたはプログラム）によって、作られうる表示やメッセージをあらわす。入っているハードディスクの条件如何で、スクリーンにあらわれうるものや、それを使ってあなたができることが決まる。

それと類似して、歴史が作られるような事件や傾向を反映するあなたの現実のディスプレイ画面にどんなニュースが写っているかは、社会のハードディスクに何が入っているかによって決定づけられる。従って、あなたは全ての核兵器が消えてしまうことや、全ての権力を持つ機構に 50%の女性の代表者が存在することや、経済成長のかわりに支援されうる暴力によらない発展がもたらされることなどを、ニュースとして聞くことを予期しないだろう。今日のニュースは膨大な過程と歴史、あるいは女の歴史（her-story！）の中で形成され発達した、大きくて深い波からの噴出と考えられる。

当たり前だと思われて、ほとんど思考の流れの中で意識化されないことがら、一般的には問題にされない社会の深い構造の中から我々は何を見いだすのだろうか。我々は、社会の全ての構成員が社会をどのように切り取るかを学んできた中に、どのような世界観、社会観を持ちうるかという一連の「ファイル」を見つけだす。それらの社会のファイルは以下の通りだが、加えて地球上の支配的な文明である西欧社会における支配的な価値観も示す。

ファイル

1. 最高の権威として共通してイメージされているのは何か— 唯一神、八百万の神、あるいは神はいない、男性、女性、教会といったような組織があるか？

（西欧社会：唯一神、男性、上下関係のある組織、服従さえすれば、救済は得られるだろう）

2. 自然と人間との関係の様子はどのようなものか？人間は母なる地球の上に立っているのか、地球と協調するのか、または地球に謙虚で役に立とうとするか？

（西欧社会：上に立つ、非常に人間中心である）

3. 人間と人間の関係では水平的な組織の方が優勢なのか、あるいは垂直的な方か、リンク付けされているかそうではないか、「文明」の概念とは？

(西欧社会：垂直的、頂点から底辺までランク付けされている。人種や経済などのレベルによって分類される。)

4. どちらの方がより重要とみなされるのか？生命における、体／身体的側面それとも魂／精神的側面？

(西欧社会：体／身体的側面)

5. 主題の構想は？短期的あるいは長期的、直線的あるいは循環的、機械的あるいは有機的？

(西欧社会：短い、直線的、機械的)

6. 世界の広がりをもどのように捉えるのか？包括的あるいは排他的、独立的あるいは組織的、中心と辺境があるというように捉えているのか、そして世界で我々が位置しているのはどこにあたるのか？

(西欧社会：排他的、中心と辺境がある、例えば第一、第二、第三、第四世界などとそれぞれを位置づけている)

7. 支配的な知識の様式、スタイルはどのようなものか？原始的な知恵なのか、内省的な、直感的な、科学的な知恵なのか？「正統的思考様式」とは総論的なものかあるいは各論的なものか？

(西欧社会：科学的で、個別的、演繹的、自然と社会の法)

8. 生と死の関係はどのようなものか？終末として捉えるのか、循環過程にあると捉えるのか？人為的なものなのか、神から与えられるものなのか？

(西欧社会：きっちりとした境界線、輪廻転生しない、人に操られるもの、例えば遺伝子操作や核戦争)

9. 善と悪とのイメージは、どちらかに偏ったものか、あるいはどちらも併せ持つものか？それは倫理上強い弱いのか？

(西欧社会：どちらか一方、権力という動機に比べては弱い)

10. 対立は肯定的と否定的のどちらと捉えられているか？どんな方法が、それらを解決するために使われるのか？戦い、戦争、裁判、調停、交渉、競技？暴力はどのように合法化されているか？

(西欧社会：否定的。集団内では暴力はほとんど無く、集団外で暴力は行われる。国際的な権力の対立は常に勝者と敗者とを生み出す)

11. 発展とは何か？永久的、連続的、自然、差別的、画一的？ 唯物主義対精神主義？
通念としての天国のイメージ 落下一暗黒一啓発一進歩一転機一浄化一天国 そして再生？

(西欧社会：永久的、画一的、唯物主義、そう、そのような通念としてのイメージをもっている)

12.平和はどのようなものとして定義されるか、バランス、生、死、能動、受動、人間からあるいは神から受け取るもの、内面的、または外面的？

(権力と"核兵器"や"死の脅威による抑止力"とのバランス、「戦争がないときは平和である」や「永遠の眠り」などのように受動的、その他の分類は人為的である)

要するに、西欧社会では上に述べたようにどの基本的な概念ファイルもソフトの面よりもハードの面に主として傾いている。しかし、それだけではない。歴史を通じて我々は修道院、非暴力運動、女性の、環境のバランスのための運動などのさらに様々な生き方を実践している個人、グループの存在のような反対の流れにあるものを見いだすことができる。

このように構成されまたは「プログラム」された、西欧の文明のハードディスクはより多くの男性を権力ピラミッドの頂点と文明化の境界線との両方に配置した。そこでは生命は生物工学的に操作され、そして人間は神を演じるのだ。神でなく人間一すなわち男性たちが人類というプロジェクトを続けるかどうか決定するだろう。

男性は人間を生むことができないために、社会の秩序を破壊し、現代の完全な世界への供給を独占した。供給した中のひとつは、破壊の後に作り上げた完全な世界では悪は浄化されているというものだ。(聞いたところによると、全ての戦争は**気高い原因**によって戦われている。)

男性がしばしば彼らの権力を楽しんでいても、これは西欧の白人男性の重荷であり、女性に劣らず男性にとって悲劇であると私には思われるのだ。幸運なことに多くの女性は、ハードディスクの中のハードファイル以上の力を競っても何の展望もないということを知っている。ごく少数の男性といっしょに彼女らは、今のところディスクを再プログラムする方法、一般的な思考とそれぞれのファイル内部の共通の展望をよりソフトな方向へと動かす方法を探求している。

コンピュータの利用者が普通、どのようにして再プログラムするのかを知らないのに対して、我々は皆社会のハードディスクを再プログラムするのを手伝うことができるのだ。ただ、我々がもし他に選択肢がないと思ひこむ TINA 症候群にとりつかれたら、人類は破滅してしまうだろう。もし、我々が男性に殺し合いやパワーゲームや意味のない理由からの核実験によって我々を脅すことをやめてもらいたいのなら、そのような社会の領域と特定のファイルを粉砕するために、生命、発展、知識、安全などについて考え始めるために、互いに助け合わなくてはならない。古くさい男性役割は見当違いで、不道德なものである

と一般の常識としてみなすようにすることがその方法なのだ。

同時に、我々は男女いっしょにその熱意と英知をもって、統一した何か新しい社会を作り上げなくてはならない。より有効なソフトウェアをインストールし、新しいメタファーを誕生させよう。

そうすればある日、ホットな良いニュースがスクリーンにあらわれるだろう。男性はユーゴスラヴィアその他の地域の惨めな戦争をやめるだろう。その日、我々は皆、暴力的な政治、戦争や軍国主義、つまり武器の交易や生産による利益、ランボー主義、盲目的愛国主義、民族主義を歴史の掃きだめに属するものとみなす。同様に、捨てるものには奴隷制度、絶対君主制、植民地主義、帝国主義、共産主義（と資本主義）そして西欧の「ハード」の傲慢と認められるものなら何でも。

新しいハードディスクは両性的で、我々に美しい未来像を供給するものに違いない。憎しみでなく、流動的な平和とともにある地球、その地球上の人々による建設的な見解こそが、現在の暗い時代から我々を救い出すことができるのだ。

このサマリーにおいてガンジーを忘れないで、もちろんインディラでなくマハトマを…

(森政淳子)